

被爆八十年ギャラリー

花田司氏から妻良枝氏に宛てた書簡（二頁目）

小倉基地から、フィリピン・ルソン島出征直前のもの

池野村農業會

前略、先日からは多忙中有難く存じました。
あれから多忙な四日間は終り
故国を去ります。元気百倍です。
十六日は早く帰ったさうだね。小生は十時頃
小倉の椿にも熊本にも行きました。
之なことならもう一日はゆっくりとして
貰へばよかったと思ふ位でした。
十一時半頃姉さん宅を去りました。
然し其れから雨が降ったりなので思違も
早く帰ったのも幸だったとも思った。
午後にも幸にして八幡に行けました。

前略、
先日からは御多忙中有難く存じました。
あれから多忙な四日間は終り
故国を去ります。元気百倍です。
十六日は早く帰ったさうだね。小生は十時頃
小倉の椿にも熊本にも行きました。
之なことならもう一日はゆっくりとして
貰へばよかったと思ふ位でした。
十一時半頃姉さん宅を去りました。
然し其れから雨が降ったりなので思違も
早く帰ったのも幸だったとも思った。
午後にも幸にして八幡に行けました。

最後のお別れと思って雨降りもいとはず
九時頃着きました。
お父さんやお母さんもお前が唯かに話して
居ったとかでほゞ知って噂さをして居た所
だった。
十一時半すぎ帰営しました。之なことなら
まだ長く居ても良かった気がしました。
尚当分の間手紙も出せないと思ふから
お前も骨が折れることゝ思ふが親孝行を
よろしくたのむ。おれの分も。
兄弟達も共に励まし合って中良く他人に後指
されない様に願ふ。両親にも無理をしない様
ぼつぼつ働く様伝えてくれ。

被爆八十年ギャラリー

花田司氏から妻良枝氏に宛てた書簡（二頁目）

小倉基地から、フィリピン・ルソン島出征直前のもの

池野村農業會

22
自分の男子と生れて之以上の誉はないのだ。
しっかり働いてくるよ。
之が最後の便りなるかも知れない。
淳司や徹もしっかりたのむ。
然しいづれにせよ、面白いこともあらう。
苦しいこともあると思ふ。
おれのことは心配はいらないから
お前達は体を大切にしっかり働いてくれ。
兄弟達にもよろしく伝えてくれ。
弟達にもめぐり合ふこともないと思ふから
よろしく伝えてくれ。
八幡の両親や兄さん達にもよろしく願ふ。
お母さん達の親切は身にしみる。

自分の男子と生れて之以上の誉はないのだ。
しっかり働いてくるよ。
之が最後の便りなるかも知れない。
淳司や徹もしっかりたのむ。
然しいづれにせよ、面白いこともあらう。
苦しいこともあると思ふ。
おれのことは心配はいらないから
お前達は体を大切にしっかり働いてくれ。
兄弟達にもよろしく伝えてくれ。
弟達にもめぐり合ふこともないと思ふから
よろしく伝えてくれ。
八幡の両親や兄さん達にもよろしく願ふ。
お母さん達の親切は身にしみる。

煙草は貰って行った。兵幡お母さんの所で
ビールを飲んだのがとてもおいしかった。
チリ紙やマッチまで貰って行く。
石鹸を持って行って居るから返してくれ。
お前から言ふのもこまるかも知れないが
手紙も出して居るから心配はないと思ふ。
小倉の兄さんの所に金を置いて居るから
小使もたりないと思ふから貰って置け。
八〇円か九〇円位と思ふ。おれもはつきりと
知らない。小使等もこまるかも知れないが
心■でも使ってくれ。
次に戦友ととった写真が送って来ることにな
って居るからお前から一人宛送ってくれ。

被爆八十年ギャラリー

花田司氏から妻良枝氏に宛てた書簡（三頁目）

小倉基地から、フィリピン・ルソン島出征直前のもの

池野村農業會

住所は福岡県飯塚市駅本通り貳丁目 渡邊 勝

妻、シズ子

一、糟屋郡志賀島村大字志賀島

坂本 友雄

遵(ミチ)子

一、嘉穂郡穂波村松ヶ瀬

古澤 武

カズ子

右、三名だから奥さん達共に

次は平井班長殿にもよろしく話してくれ。

尚、郵便通帳も不用だから

班長殿にお願いして送って貰ふ様にして居る

から小使の不足の場合は使ってよいから。

おれも多分、今度はマニラに行くから

当分手紙は出せないから 其のつもりで

途中は心配しなくてもよいと思ふ。

では皆んな体を大事に。

お前は責任は大きいと思ふがよろしくたのむ。

元気に行ってくるから。

さようなら。

司

花田よしゑ殿